

1 指定管理施設の概要

施設名	東舞鶴公園、泉源寺公園、前島みなと公園、舞鶴文化公園、東体育館		
指定管理者	舞鶴スポーツネットワーク		
設置目的	市民が、生涯にわたりスポーツ活動に親しみ、様々なスポーツ・レクリエーション活動を行える施設として、また、市民ニーズに対応した各種スポーツ事業等の実施を通じて市民のスポーツ活動の振興を図り、健康の維持増進に資する施設として、さらには、大会誘致、合宿誘致などスポーツの観光交流を積極的に推進し、スポーツを通じた地域づくりに資する施設として、施設を拠点とした戦略的なスポーツ事業の展開を行うため。		
選定方法	公募・非公募	指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
所管課	市民文化環境部地域づくり・文化スポーツ室スポーツ振興課、建設部土木課		

2 利用状況等の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	年度
利用者数(人)	282,280	361,015	335,275	327,375	
利用料金(円)	36,999,704	44,624,972	44,351,275	42,872,110	
指定管理料(円)	77,211,000	79,222,000	78,705,000	78,705,000	

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
利用人数	310,000人	350,000人	327,375人	94%
自主事業の実施回数	100回	500回	1,124回	225%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	42,872,110	人件費	53,964,926
指定管理料	78,705,000	維持管理費	33,542,004
事業収入	10,149,510	事業費	12,390,293
その他	7,743,055	その他	42,923,454
合計	139,469,675	合計	142,820,677
差額			△3,351,002

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	○	目標を上回ることはできなかったが、94%とほぼ達成できたものと評価する。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	子どもから成人まで幅広い世代を対象とした講座やイベントの実施など、ビジョンに沿った事業を展開された。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	適切な管理により、憩いの場としての公園施設の提供や、スポーツ教室などの実施により、健康の維持増進に資する施設として良好に運営された。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	○	新たなイベント等を企画、実施するなど、積極的に取り組まれた。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	○	前年度と比べると、大規模大会の開催が少ないため利用者数の減少となったが、やむを得ない理由であるとする。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	大きな苦情やトラブルもなく、良好に管理運営されたものとする。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	意見、要望の把握に積極的に取り組まれた。
利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	苦情は、その都度市に報告され、適切に対応された。

(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	△	昨年度に比べると、大きく改善されているが、まだ、赤字幅が大きいので、より収支の適切な執行に努めて欲しい。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	消耗品等を、在庫管理から発注まで集中管理することで、より経費の削減が図られた。
収入増加のための取組が行われたか	△	台風等の天候不順が多く、施設利用料が減収となった。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	○	季節や繁忙期を勘案した適切な配置が行われた。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	定期的な研修により各個人のスキルアップが図られた。
施設の平等な利用が行われたか	○	条例、規則等に基づく平等な利用が行われた。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	個人情報の管理は適切に行われた。
情報の公開が適切に行われたか	○	情報公開請求はなかったが、HP や窓口掲示などで適切に情報提供がなされた。
収支状況や会計処理が適切か	△	わかりやすい会計処理に努めて、収支状況の改善に努めて欲しい。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	適切に実施された。
備品等の管理が適切に行われたか	○	点検票により定期的に点検が行われた。
危機管理、安全対策などは十分か	○	大きな事故、事件も無く、安全対策等は十分に図られた。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	適正に行われた。
(5) その他コメント		
サービス向上	新たに、健康チェックのサービスを導入するなど、利用者のニーズに合った取り組みに努めている。職員の応接も良くなっているが、今後も継続して、研修等を実施しスキルアップに努め、更なるサービスの向上を目指して欲しい。	
経費削減	光熱水費や、軽微な委託作業などの自主実施など、経費の節減に努められ一定の成果があった。今後も、色々な工夫をして、経常経費や人件費の削減等、更なる経費の削減に努めて欲しい。	
施設の維持・管理	今後も利用者のニーズに沿って、利用しやすく喜んでいただける施設となるよう、適正な維持管理に努めて欲しい。	

※ (1)から(4)までにおける評価区分

◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。

○(良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。

△(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。

×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	3.33 点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	赤字の解消に取り組まれない。 決算書(収支実績)はもっと明細を細かく表示しないと内容の把握ができない。施設ごとの収支状況や指定管理者内でのやり取りが分かるものを作成されたい。	

《参考》 過年度の評価点

平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平均
3 点	4 点	3.33 点		3.44 点